

## 平成 30 年度高知県社会福祉審議会 議事録

- 1 開催日 : 平成 31 年 1 月 30 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00
- 2 場 所 : 高知サンライズホテル 5 階「あけぼの・あかつき」
- 3 出席者 : 委員 28 名中 21 名出席
- 4 内 容 :
  - (1) 開会
  - (2) 地域福祉部長あいさつ
  - (3) 議事
    - 委員長・副委員長の選任、専門分科会・部会委員の指名
    - 専門分科会・部会の開催状況について
      - ⇒委員の互選により、委員長には福島寛隆委員、副委員長には宮上多加子委員が選任された。
      - ⇒各専門分科会・部会の概要及び開催状況について県担当課より説明を行ったのち、専門分科会・部会委員指名の事務局案を提示。事務局案のとおり指名した。加えて、大崎博士委員から地域福祉専門分科会委員への立候補をいただいたので、追加で指名した。指名結果は別紙のとおり。
    - 第 2 期高知県地域福祉支援計画の進捗状況について
      - ⇒地域福祉政策課長より計画の主要な項目について進捗状況の説明を行った。
    - 第 3 期高知県地域福祉支援計画策定の進め方等について
      - ⇒地域福祉政策課長より第 3 期高知県地域福祉支援計画策定のスケジュール等について説明を行った。
  - (4) 報告事項
    - 高知県再犯防止推進計画の策定状況について

### 【主な意見・質疑応答】

<第 2 期高知県地域福祉支援計画の進捗状況について>

(委員)

あったかふれあいセンターを整備していない市町（高知市、香南市、梶原町）の状況を教えていただきたい。

(事務局)

県としては、旧市町村単位で地域福祉の拠点となる小規模多機能支援拠点を整備するよう支援を進めているところ。あったかふれあいセンターを整備していない 3 市町については、あったかふれあいセンターに代替する社会資源（集落活動センターや住民主体のサロン等）を活用している。

今後、新たにあったかふれあいセンターの整備を検討する動きも出てきたところなの

で、引き続きニーズや状況を確認しながら、支援を続けていきたい。

<第3期高知県地域福祉支援計画策定の進め方等について>

(委員)

第3期計画の策定にあたっては、従来の公的な福祉サービスから漏れた方々（高齢者等）に対する「住まいの確保」についても議論を深めていただきたい。

また、「不登校」や「ひきこもり」の方の就労支援についても検討していただきたい。

(事務局)

「住まいの確保」については、資料3「第3期地域福祉支援計画策定の進め方等について」p3の枠組み部分の「カ 居住に課題を抱える者への横断的な支援の在り方」にあるとおり、計画に盛り込むべき事項として、福祉担当部局に限らず県土木部住宅課等の関係部局と連携しながら検討を進めていきたい。

また、ひきこもり等の方への就労支援の推進に関する施策については、日本一の健康長寿県構想に位置づけ取組を推進しているところ。地域福祉支援計画は健康長寿県構想と一体的に推進しており、来年度の第3期計画の策定においても、健康長寿県構想との関連性等を踏まえながら作業を進めていきたい。

(委員)

災害派遣福祉チーム「DWT」の編成についても、第3期計画の中に盛り込んでいただきたい。

また、第2期計画では「社会福祉法人等における社会貢献活動の推進」について記載いただいているが、先ほどの「従来の公的な福祉サービスから漏れた方々への支援」という視点もふまえ、第3期計画では、今後、社会福祉法人にどんな役割を担ってもらいたいのか、について検討いただきたい。

(事務局)

第2期計画では、災害時要配慮者の支援に関する仕組みづくりに関する取組を推進しており、また、災害時の広域的なネットワークに関することについても別途検討会を設け議論しているところ。第3期計画においては、こういった取組や議論の進捗を踏まえ、必要に応じご相談させていただきながら検討を進めていきたい。

なお、来年度第4期となる県の南海トラフ地震対策行動計画においても、要配慮者等の支援策がひとつの大きな柱となる予定。今後も、県全体で南海トラフ地震を含む災害時の対策についてしっかりと検討していくので、引き続きご助言・ご協力をお願いしたい。

2点目の社会福祉法人の役割についても、社会福祉法の改正により、第3期計画に「制度の狭間の課題への対応のあり方」に関する項目を追加することを予定しているので検討していきたい。